

院長ごあいさつ

令和3年6月1日で開院6年を迎えました。

思えばあっという間の6年間でした。昨年の6月1日、そして本日といまだに私たちは「新型コロナウイルス感染症」という新規感染症の蔓延に対峙しています。世界中の科学者がこの感染症に対する治療法を研究していますが、残念ながらいまだに決定的なものはみつかっていません。それでもワクチンは数種類開発されすでにわが国でも接種が始まっています。それによりこの新規感染症の予防効果や重症化回避が見えてきました。ただウイルスも淘汰されまいと変異を繰り返すでしょう。一刻も早く前述の治療法の確立が待たれるところです。いずれにしましても当院ではこれからも感染症に対する標準予防策は徹底してまいりたいと思います。受診時のマスク装着や手指消毒、発熱のある患者さんは受診前に必ずご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

さて私自身この6年間ずっと休診日でさえもほぼ登院しています。登院しないのはおそらく年間数日だと思います。これは大学病院での勤務医時代からの習慣もあるかと思いますが、おそらくその頃よりもっと濃密に仕事をしていると思います。休診日に登院してまず行うことは前週に受診された患者さんのカルテチェックと画像チェックです。稀ながらそこで気になる所見が見つかることもあり、その際は当該患者さんにご連絡したこともありました。それが終わると自分なりの学習です。開業しての最大のデメリットは勤務医時代には当たり前だった同僚との診断・治療方針についての話し合いができないことや、定期的な学会活動がしづらくなったことです。ただこのコロナ禍でほとんどの学会がWEB開催になり、会期後もオンデマンド配信で最新の情報が何度でも聴講できるようになりある意味でこれは私にとりまして助かっています。最新の論文も今やインターネット環境さえあれば読める時代ですので、これらを活用して日々勉強しています。もともと趣味を持たない人間でしたが、今はこの自主勉強が唯一の趣味のような気がします。

最後に毎年の私のごあいさつで決まって述べておりますが、当院の診療理念は「患者さんの病気の不安を笑顔にかえる」ということです。そのためにもまずは私たちがみなさまを笑顔でお迎えしてまいります。そして受診されたみなさまが、その日のうちに当院に来てよかったと笑顔になれるよう努力していきます。

これからもどうかよろしくお願いいたします。

令和3年6月1日

つぐ脳神経外科・頭痛クリニック
院長 継 淳